

刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年	刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年
D・3-570	15	無銘	49.6	1.1	1	江戸初	乱	2.7	0.6	1.7	0.4	387	埼玉77618	平21	B・3-561	62	国廣	63.8	0.9	3	江戸中	乱	2.9	0.6	1.8	0.5	588	広島7355	昭27
さび、刃こぼれなし。鎗造、庵棟。板目流れる。浅い互の目。中切先。小丸。生茎。劔形。かすかに右上がりヤスリ目。無傷の真鍮ハバキ。刃文鮮明。															さび、刃こぼれなし。板目に空交じり。直刃に湾れ。生茎。切。銅ハバキ。黒石目鞘。丸形透かしツバ。鉄鑑。「藤原国廣」。新刀の祖。超大物刀匠。白鞘付。														
																													
刃文鮮明															国廣														
D・3-569	20	無銘	51.4	1.2	2	室町末	乱	3.1	0.7	2.0	0.6	478	東京51240	昭27	F・3-560	22	無銘	27.6	0.4	1	江戸初	直	2.6	0.5	2.1	0.5	240	宮城10494	昭33
さび、刃こぼれなし。鎗造、庵棟。板目に小互の目交じる。中切先。大丸。摺り上げ茎。鷹の羽ヤスリ目。金色二重ハバキ。黒檀の鯉口。刃文鮮明。															さび、刃こぼれなし。鎗造、庵棟。小空目詰む。直刃。大切先。小丸。大摺り上げ。栗尻。金着せハバキ。小さ刀拵。鮫皮を磨いた白黒鞘。返角。栗型付。礼装用の上品な短刀。														
																													
刃文鮮明															上品な短刀														
E・3-568	19	無銘	49.3	1.2	2	室町末	乱	2.4	0.6	1.8	0.4	342	兵庫124912	令2	F・3-559	20	貞行	25.8	0	1	昭和	乱	2.6	0.6	1.6	0.3	160	和歌山20544	昭55
さび、刃こぼれなし。鎗造、庵棟。板目肌。直刃調に小乱れ二重刃かかる。摺り上げ茎。ヤスリ目横。きれいな黒漆ツヤ鞘。ツバ銀の線象嵌。長めの脇差。															さび、刃こぼれなし。平造。板目に互の目連なる。生茎。栗尻。棒樋掻き流し。添樋。銅ハバキ。表「龍神太郎源貞行」。裏「昭和庚申正月吉日」。新作名刀展で数多く受賞。														
																													
漆鞘															貞行														
F・3-567	26	正次	21.2	0.1	1	江戸末	乱	2.7	0.6	1.6	0.4	156	岡山108895	平4	F・3-558	15	祐光	28.3	0.1	1	室町中	乱	2.3	0.6	1.5	0.4	174	栃木52555	平28
さび、刃こぼれなし。平造。板目詰む。互の目乱に尖り刃交じる。生茎。栗尻。銅ハバキ。「水心子正次(花押)」。「天保十三年仲秋」。1850年高野長英死。															さび、刃こぼれなし。平造。板目流れる。直刃に大きく互の目交じる。生茎。素剣の彫。真鍮ハバキ。表「備前国長祐祐光」。裏「宝徳三年八月日」。1452年。グーテンベルク印刷機発明。														
																													
水心子正次															祐光														
D・3-566	12	無銘	49.8	1.1	2	室町末	乱	2.5	0.6	1.6	0.5	348	東京107478	昭36	D・3-557	11	無銘	54.0	1.7	1	江戸初	乱	3.0	0.6	2.1	0.4	466	新潟068921	平22
さび、刃こぼれなし。鎗造、庵棟。板目流れて柁がかかる。互の目乱れ続く。小切先。小丸。摺り上げ茎。ヤスリ目横。金塗銅ハバキ。細身の脇差。															さび、刃こぼれなし。鎗造、庵棟。板目に互の目連なる。中切先。生茎。栗尻。ヤスリ目見えず。銀着せハバキ。刀身地荒れあり。白鞘素材柄と鞘異なる。														
																													
格安															格安														
刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年	刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年
D・3-565	18	輝広	39.7	1.0	1	江戸中	乱	2.9	0.6	2.0	0.4	327	広島49419	昭54	E・3-556	22	照門	46.4	1.2	1	江戸初	乱	2.8	0.6	2	0.5	397	高知16966	昭43
さび、刃こぼれなし。鎗造、庵棟。柁目肌。小互の目交じり。中切先。大丸。生茎。栗尻。鷹の羽ヤスリ目。二重ハバキ。「播磨守輝広」。兵庫の大名のお抱え刀匠。きれいな飴色の白鞘。															さび、刃こぼれなし。鎗造、庵棟。板目に空目交じり。互の目乱。生茎。栗尻。銅ハバキ。黒塗ツヤ鞘。菊花形鉄ツバ。「丹波守照門」。近藤勇の愛刀。金物揃。														
																													
輝広															近藤勇の愛刀														
D・3-564	15	盛國	42.6	1.2	1	江戸中	乱	2.8	0.7	1.7	0.4	362	東京177418	昭48	A・3-555	35	直胤	61.3	1.7	1	江戸末	乱	3.1	0.8	2.1	0.6	702	山形10833	昭30
さび、刃こぼれなし。鎗造、庵棟。小空目詰む。互の目連なる。中切先。大丸。生茎。栗尻。平行なヤスリ目。銅ハバキ。「盛國」。虎徹とよく交わり作風が似ている。															さび、刃こぼれなし。板目流れる。波文丁子。生茎。栗尻。銀着せハバキ。鞘書に「大慶直胤 昭和十八年仲秋鑑士」。「大慶直胤花押」。江戸時代代表の刀匠の一人。														
																													
虎徹風															直胤														
D・3-563	22	兼光	53.2	1.2	1	江戸初	乱	3.0	0.7	2.0	0.5	520	東京111885	昭37	D・3-554	15	無銘	54.8	1.4	1	江戸初	乱	2.8	0.6	1.9	0.4	450	福島32542	昭43
さび、刃こぼれなし。鎗造、庵棟。板目詰む。互の目乱。大切先。大丸。生茎。栗尻。銅ハバキ。「備前國長船住兼光作」。鞘書。(鑑定書様なもの)。三ツ頭、刃文とも鮮明。															さび、刃こぼれなし。鎗造、庵棟。板目に空目交じり。直刃に小乱れ交じり。中切先。生茎。劔形。ヤスリ目横。銅ハバキ。安いわりに姿良し。														
																													
兼光															姿良し														
B・3-562	29	無銘	67.0	1.5	1	昭和	乱	2.9	0.6	1.8	0.5	678	山形8652	昭28	D・3-553	12	兼久	39.2	0.4	1	江戸初	乱	2.6	0.6	1.8	0.5	269	京都37031	昭56
さび、刃こぼれなし。鎗造、庵棟。板目詰んで梨子地肌。直刃。小切先。大丸。生茎。尻張。両面棒樋丸留。銅ハバキ。黒石目ツヤ鞘。丸形鉄ツバ。下緒付。超お買い得!															さび、刃こぼれなし。鎗造、庵棟。板目に空目表わる。直刃に乱れ交じり。中切先。大丸。生茎。栗尻。櫓垣ヤスリ目。銀着せハバキ。「兼久」。														
																													
お買得															兼久														

B-3-552から

B-3-532まで

刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年	刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年
B-3-552	33	無銘	67.7	0.8	1	昭和	乱	3.1	0.8	2.0	0.5	630	東京190885	昭49	D-3-541	18	無銘	58.1	1.8	1	室町中	乱	3.0	0.7	1.7	0.5	522	愛知39100	昭46
さび、刃こぼれなし。梨子地肌。直調に互の目続く足入り。銀と黒の二重ハバキ。キズのない黒刻みと黒地に深緑模様の変わり鞘。飾り刀に最適。角形鉄ツバ。下緒付。														さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。板目よく詰む。直刃に少し乱れる。小切先、大丸。生茎。栗尻。平行なヤスリ目。銅二重ハバキ。長めの白鞘脇差刀。値段の割には良い脇差。															
 深緑鞘														 あと1.9cmで刀															
D-3-551	12	盛高	41.1	0.6	1	室町末	乱	3.2	0.8	0.9	0.5	429	東京200235	昭51	D-3-540	18	在銘	48.5	1.0	2	室町末	乱	2.5	0.7	2.0	0.6	477	熊本24877	昭42
さび、刃こぼれなし。板目肌。直刃調に乱れ交じる。生茎。栗尻。金塗ハバキ。「豊州高田住平盛高」。「永正三年八月日」。豊後刀。1506年、信長生まれる直前。														さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。板目肌。尖り互の目、三本杉風。小切先、大丸。生茎。尻張。銅ハバキ。ヤスリ目みえず。「濃州住兼(以下切れ)」。鮮明な刃文。															
 大河ドラマ 麒麟の頃														 刃文鮮明															
A-3-549	58	茂虎	71.8	2.0	1	江戸末	乱	2.5	0.6	1.3	0.4	616	山梨18915	昭56	C-3-539	31	眞光	68.2	1.8	1	室町末	乱	2.8	0.6	1.6	0.4	514	東京265681	平5
さび、刃こぼれなし。柁鍛え。変化のある小互の目。生茎。栗尻。銅ハバキ。「森茂虎」。「嘉永二年八月日」。1849年桜田門外の変。日刀保認定書。														昭和13年製軍刀。さび、刃こぼれなし。板目流れる。直刃に小乱れ交じる。小切先。生茎。栗尻。眞鍮に銅着せハバキ。「眞光」。家宝の刀を持って戦地へ。															
 桜田門外の変														 戦国時代															
D-3-548	18	兼常	51.0	1.6	1	江戸初	乱	3.1	0.7	1.8	0.5	447	静岡40429	昭43	F-3-538	31	無銘	26.3	0.4	1	江戸末	乱	2.8	0.7	1.6	0.3	192	静岡29069	昭39
さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。板目流れて杓目がかかる。小互の目連なる。両面棒樋丸留め。生茎。栗尻。銀着せハバキ。刃文鮮明。美濃の刀工「兼常」。信長と関係深し。														さび、刃こぼれなし。鶴の首造。板目に杓目がかかる。直刃に乱れ交じる。生茎。栗尻。銅ハバキ。松代拵。黒石目鞘。小判形鉄ツバ。揃いの小柄、こうがい付。															
 信長と関係深し														 小柄、こうがい付															
F-3-546	18	兼秀	23.0	0.0	1	昭和	乱	2.4	0.6	1.4	0.3	143	岐阜085410	令1	E-3-537	31	無銘	35.4	0.8	1	室町末	乱	2.7	0.5	2	0.3	222	兵庫96237	昭57
さび、刃こぼれなし。平造。板目流れて杓目がかかる。直刃に湾れかかる。小切先。鮮明な帽子。生茎。栗尻。平行なヤスリ目。木ハバキ。「兼秀」。よく出来た短刀。昭和天皇に献上刀工。														さび、刃こぼれなし。菖蒲造。板目詰んで杓目あらわる。互の目調の大乱れ。沸えからむ。生茎。栗尻。金二重ハバキ。小さき刀拵。朱と黒の変わり塗鞘。小判形鉄ツバ。川と虎図の小柄付。															
 昭和天皇 献上刀工														 小柄付の きれいな刀															
刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年	刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年
D-3-545	18	無銘	53.4	1.1	1	江戸中	乱	2.7	0.7	1.9	0.5	486	広島1741	昭26	D-3-536	19	兼宗	55.7	1.1	1	昭和	乱	2.8	0.7	1.8	0.5	474	北海道9295	昭29
さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。板目肌。大乱れひとつらかかる。中切先、大丸。生茎。栗尻。銀枯乗ハバキ。ヤスリ目みえず。三つ頭鮮明。大名登録。														さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。板目詰んで梨子地肌。互の目連なる。中切先、大丸。生茎。栗尻。鷹の羽ヤスリ目。銅ハバキ。「関兼宗作」。戦国時代より続いている刀匠。															
 三つ頭 鮮明														 兼宗															
D-3-544	15	利國	56.5	1.2	1	江戸初	乱	2.7	0.8	1.8	0.5	417	岡山89183	昭51	A-3-534	31	無銘	64.7	0.1	3	江戸初	乱	3.0	0.7	1.8	0.4	586	徳島8419	昭38
さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。大板目あらわる。直刃調に乱れ交じる。小切先、大丸。生茎。栗尻。金色ハバキ。「利國作」。細身ですらった長脇差。あと4cmで刀。														さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。板目肌。細かい互の目連なる。小切先、大丸。生茎。木ハバキ。反り0.1mmの直刀。ここまで真っ直ぐな刀は珍しい。															
 利國														 直刀															
B-3-543	53	義定	67.4	2.2	1	昭和	乱	3.2	0.9	1.9	0.6	868	東京256744	平3	D-3-533	30	吉勝	52.2	1.1	1	江戸初	直	3.1	0.7	2.1	0.4	514	東京27553	令2
さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。板目詰んで梨子地肌。互の目連なる。小切先。生茎。栗尻。鷹の羽ヤスリ目。金色ハバキ。黒石目鞘。丸形透かしツバ。「濃州関住義定作」。														さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。板目によく鍛えた地鉄を用い直刃をみごとに焼いている。「筑州住源信国吉勝」。延宝(1673年)福岡の巨匠。銃砲刀剣研究会鑑定書。															
 義定														 延宝(1673年) 福岡の巨匠															
D-3-542	19	無銘	44.2	1.2	1	江戸中	乱	2.7	0.7	1.8	0.6	376	秋田9247	平15	B-3-532	57	盛重	65.3	2	3	室町中	乱	3.0	0.7	2.0	0.4	632	北海道8056	昭29
さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。板目肌あらわれる。大乱れ。中切先、大丸。生茎。栗尻。平行なヤスリ目。銅二重ハバキ。どっしりとした脇差。														さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。板目流れる。互の目乱れ。中切先、小丸。生茎。栗尻。右下がりヤスリ目。銅に銀塗ハバキ。黒塗リツツハ。丸ツツハ松図。下緒付。「平盛重」。															
 どっしりした脇差														 豊州刀 平盛重															

A・3-531より

2020年(令和2年)9月17日(木)新入荷13振

B・3-509まで

刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年	刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年
A・3-531	51	無銘	67.4	1.0	1	江戸中	乱	3.0	0.7	2.1	0.5	650	神奈川180684	平31	B・3-515	53	兼吉	67.3	1.4	1	昭和	乱	3.1	0.8	2.1	0.5	786	東京321567	令1

さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。板目流れて子壱交じり。互の目乱れ。中切先、小丸。生茎。栗尻。平行なヤスリ目。銅ハバキ。地肌面白く見応えあり。

さび、刃こぼれなし。無地肌。互の目丁子乱。大切先、大丸。生茎。栗尻。銅ハバキ。黒塗ツヤ鞘。二つ木瓜形鉄ツバ。「刻印関 吉田兼吉作」。折れず曲がらずを証明した関の刻印。



地肌
鑑賞に
最適



珍品
関の刻印

刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年
E・3-530	22	無銘	31.8	0.5	1	江戸末	乱	2.9	0.7	1.9	0.5	267	埼玉28305	昭43

さび、刃こぼれなし。鵜の首造。板目詰んで壱目たつ。直刃に互の目。生茎。栗尻。赤茶ツヤ鞘。小柄、こうがい付き珍品。

刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年
B・3-514	57	兼明	66.8	1.7	1	昭和	乱	3.1	0.9	2.0	0.5	752	愛知76677	平30

さび、刃こぼれなし。無地肌。鮮明な互の目乱れ連なる。小切先、大丸。生茎。栗尻。銅ハバキ。きれいな黒塗ツヤ鞘。丸形透かし鉄ツバ。「濃州住栗山兼明」。



拵完璧!
小柄こうがい付



兼明

刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年
D・3-528	15	無銘	51.8	1.1	1	江戸中	直	2.8	0.6	1.8	0.4	389	千葉054975	令2

さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。板目詰んで柁がかかる。直刃。小切先、大丸。生茎。栗尻。ヤスリ目見えず時代を感じる。銅ハバキ。安い!!きれいな脇差。

刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年
B・3-509	59	祐定	68.6	1.6	1	室町末	乱	3.0	0.8	1.8	0.5	684	新潟7686	昭29

さび、刃こぼれなし。板目流れる。鮮明な互の目乱れ蛙子なる。小切先、大丸。生茎。栗尻。きれいな茶印塗鞘。丸形透かしツバ。「備州長船住祐定」。有名な刀匠。



サビ、刃こぼれなし
格安!



祐定

刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年
D・3-526	11	無銘	52.4	1.6	1	室町末	乱	2.8	0.8	1.4	0.4	441	東京231559	昭59

さび、刃こぼれなし。菖蒲造、庵棟。板目流れて柁がかかる。互の目連なる。小切先。生茎。栗尻。銅ハバキ。刀身はあまりきれいでない為格安!



11万円
52.4cm
格安!

刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年
B・3-525	70	無銘	70.7	1.6	3	江戸初	乱	3.1	0.8	2.1	0.5	756	京都59796	令1

さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。板目流れて柁がかかる。互の目乱れ。大切先、大丸。生茎。尻張。刻み入り銅ハバキ。黒塗リツヤ鞘。丸形透かしツバ。刀全体に芸術性あり。



芸術性
大

刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年
A・3-523	26	長光	63.7	1.8	1	昭和	乱	3.1	0.7	1.9	0.5	694	兵庫90362	昭53

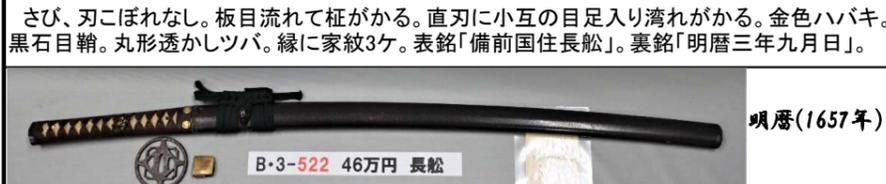
さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。無地肌。互の乱れ。大切先、大丸。生茎。尻張。左上がりヤスリ目。銅ハバキ。陸軍受命刀匠「長光作」。



陸軍
受命
刀匠

刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年
B・3-522	46	長松	69.6	1.0	3	江戸初	乱	2.8	0.7	1.6	0.5	650	青森3505	昭28

さび、刃こぼれなし。板目流れて柁がかかる。直刃に小互の目足入り湾れがかかる。金色ハバキ。黒石目鞘。丸形透かしツバ。縁に家紋3ヶ。表銘「備前国住長松」。裏銘「明暦三年九月日」。



明暦(1657年)
備前刀

刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年
D・3-521	12	無銘	43.5	1	1	室町末	乱	2.7	0.7	1.9	0.5	376	埼玉25288	昭42

さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。板目詰む。互の目連なる。中切先、大丸。生茎。栗尻。ヤスリ目ないが、鉄味よく時代を感じる。横線入銅ハバキ。初心者向け。



初心者向け

刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年
F・3-519	20	正秀	18.1	0	1	江戸末	乱	2.2	0.6	1.4	0.3	117	静岡71178	平30

さび、刃こぼれなし。平造。梨子肌。鮮明な互の目乱れ連なる。帽子は返し深く珍品。生茎。劔形。左上がりヤスリ目。真鍮ハバキ。江戸三作の「水心子正秀」銘入り。



水心子

刀剣付属品

刀二振掛 三万五千元

手入れセット 六千六百元



高さ44cm
幅45cm
奥行23cm

手入れ用具入る引出付
組武式



手入れ用具
丁子油、打粉、拭い紙
目釘抜小槌
目釘入れケース
桐箱入り5点セット

短刀一振掛 一万元

高さ22.5cm
幅30cm
奥行12cm

